

社会資本総合整備計画(社会資本整備総合交付金) 事後評価書(中間評価書)

平成29年3月9日

計画の名称	青梅市における快適な住環境の実現							交付対象	青梅市					
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)													
計画の目標	未普及地域における下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
計画の成果目標(定量的指標)	①青梅市全体の下水道処理人口普及率を94%(H23当初)から98.1%(H27末)に増加させる。 ②ポンプ場の改修率を25%(H23当初)から44.6%(H27末)に上げる。													
定量的指標の定義及び算定式	①市全体の下水道処理人口普及率 公示済み区域人口(人) / 全体人口(人) ②ポンプ場の改修率 改築実施済み箇所数(工事数) / 改築予定箇所数(工事数)													
											定量的指標の現況値及び目標値	備考		
											当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
											(計画)	94%	97.1%	98.1%
											(実績)	94.0%	96.1%	96.9%
											(計画)	25%	32.1%	44.6%
											(実績)	25.0%	32.1%	44.6%
全体事業費	(計画)	合計	6,223 百万円	A	6,223 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円		効果促進事業費の割合		0%	
	(実績)	(A+B+C)	5,454 百万円		5,454 百万円		0 百万円		0 百万円		C/(A+B+C)		0%	

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の時期
「青梅市事務事業評価実施要綱」の評価方法に準じ、効率性、経済性および有効性の観点から評価を行い、市長を本部長とする青梅市行財政改革推進本部に諮って評価を確定させる。	平成28年度
	公表の方法
	青梅市公式ホームページに掲載

I.交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		備考
											H23	H24	H25	H26	H27	計画	実績	
多摩川上流処理区																		
A1-1-1	下水道	一般	青梅市	直接	-	汚水	新設	小曾木幹線(未普及解消)	L=0.34km	青梅市						262	262	0
A1-1-2	下水道	一般	青梅市	直接	-	汚水	新設	富岡庄送幹線(未普及解消)	L=1.2km	青梅市						223	223	0
A1-1-3	下水道	一般	青梅市	直接	-	汚水	新設	小曾木枝線(未普及解消)	L=18.4km 74.2ha	青梅市						2,808	2,526	▲282
A1-1-4	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	新設	富岡汚水中継ポンプ場(未普及解消)	土木、建築、機械・電気設備 処理能力 汚水ポンプ(4.81m <sup>3</sup> /分×3基(予備機1基含む))	青梅市						713	713	0
A1-1-5	下水道	一般	青梅市	直接	-	汚水	新設	第3期枝線(未普及解消)	L=8.2km 32.2ha	青梅市						1,271	1,087	▲184
A1-1-6	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	改築	日向和田第二汚水中継ポンプ場	高圧電気設備改築	青梅市						119	119	0
A1-1-7	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	改築	北部汚水中継ポンプ場	電気設備改築、高圧電気設備改築、 機械設備改築	青梅市						297	216	長寿命化事業 ▲81
A1-1-8	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	改築	総合地震対策計画策定	総合地震対策計画策定、ポンプ場耐震診断	青梅市						18	18	0
A1-1-9	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	改築	管きよ耐震化	管きよ耐震化実施設計、ポンプ場耐震補強設計	青梅市						35	30	下水道総合地震対策事業 ▲5
A1-1-10	下水道	一般	青梅市	直接	-	ポンプ	改築	汚水中継ポンプ場中央集中監視制御装置改修	中央集中監視制御装置改修、ポンプ場建築設備改修	青梅市						287	251	長寿命化事業 ▲36
A1-1-11	下水道	一般	青梅市	直接	-	汚水	新設	御岳山枝線(未普及解消)	L=0.5km	青梅市						190	9	▲191
											合計					6,223	5,454	▲769

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		備考
										H23	H24	H25	H26	H27	計画	実績	
										合計							

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）		備考
										H23	H24	H25	H26	H27	計画	実績	
										合計							

**2.事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<p>①青梅市全体の下水道処理人口普及率を94%（H23当初）から98.1%（H27末）に増加させる。 小曾木、第3期および御岳山の各事業区域において、未普及解消事業の幹線および枝線整備を進めたことにより、青梅市全体の下水道処理人口普及率を増加し、未普及地域の解消を推進することが出来た。</p> <p>②ポンプ場の改修率を25%（H23当初）から44.6%（H27末）に上げる。 ポンプ場の長寿命化、耐震化の各改築事業を進めたことにより、計画的、効率的に施設を更新することが出来、災害時の重要なライフラインとしての機能の安定化が図れた。</p>														
II 定量的指標の達成状況	指標 市全体の下水道 処理人口普及率	最終目標値	98.1%	目標値と実績値 に差が出た要因	最終目標値は1.2%届いていないが、事業実施に際して境界未確定や住民調整などで翌年度以降に一部事業を見送った所や、A1-1-11御岳山枝線（未普及解消）の事業以外は実施できた。												
		最終実績値	96.9%														
	指標 ポンプ場の改築 率	最終目標値	44.6%	目標値と実績値 に差が出た要因		計画のとおり実施。											
		最終実績値	44.6%														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果発現状況 (必要に応じて記述)																	

**3.特記事項(今後の方針等)**

今後も新たな計画で成果目標(定量的指標)の達成を図り、計画の目標である「快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する」ことに向け、住民の理解を得ながら未普及解消の事業を推進していく。